

危機管理室

一般会計要求総額 414 百万円
(対前年度 +177.1%)

【令和3年度 予算要求の経営方針】

危機管理室は、「元気発進！北九州」プラン（北九州市基本計画）に掲げる「災害などに強いまちづくり」に向けて、本市での災害や、東日本大震災や熊本地震、各地で頻発する豪雨災害の教訓と支援の経験等を踏まえた「地域防災計画の見直し」や、防災関係機関等と連携した防災訓練を実施するなど、「想定を超える災害でも命を守る防災体制」の強化を図り、総合的な防災体制の充実強化に取り組んでいきます。

また、市民が自ら「命を守りぬく」ことができる自助・共助の力の向上につながる事業をすすめ、地域防災力の充実強化を図ります。

【令和3年度 予算要求の基本的な考え方】

（新）：新規事業、（拡）：拡充事業

●想定を超える災害でも命を守る防災対策の充実強化 要求額132百万円（対前年度 +70.7%）

大規模災害時に備え、被災者に必要な各種支援の進捗を一元的に管理するシステムを導入するとともに、非常用食糧及び飲料水の備蓄に加え、要配慮者に配慮した物資等を整備する。

また、住民の「自助」意識の醸成や、地域住民が助け合う「共助」による防災対策を推進し、地域防災力の充実強化を図る。

- 防災ガイドブック更新事業
- 地域と連携した避難所開設・運営モデル事業
- みんな de Bousai まちづくり推進事業



みんな de Bousai まちづくり推進事業「地区Bousai会議」の様子

●防災訓練を通じた関係機関や地域との連携強化 要求額 10百万円（対前年度 ▲12.6%）

防災関係機関との連携の強化、市民一人ひとりの防災意識の向上や避難行動の普及を図るため、実践的で多様な防災訓練を実施する。

- 市総合防災訓練、区防災訓練

●災害時の情報伝達手段など防災情報の充実強化 要求額 246百万円（対前年度 +731.1%）

災害時はもとより、平常時から様々な防災情報を提供できるよう、効果的な情報伝達手段の充実を図る。

- 北九州市総合防災情報システム再構築
- 防災行政無線（維持）



防災マスコットキャラクター チェックル

●被災地への支援 要求額 16百万円（対前年度 ▲23.3%）

東日本大震災、熊本地震、平成29年7月九州北部豪雨及び平成30年7月豪雨等、各災害の被災地へ市職員を派遣するなど、被災地のニーズに即した支援活動を行う。

- 被災地復興支援事業

※ 公開時点での予算要求の内容であり、令和3年度に実施することが確定しているものではありません。